I·O DATA

148555-02

15 型 タッチパネル機能対応 TFT 液晶ディスプレイ

LCD-A151F-T

取扱説明書

2 タッチパネル機能を使えるようにしよう

「LCD-A151F-T 取扱説明書」は、2 枚構成となっています。
必ず 1→2 の順にお読みいただき、正しくお取り扱いください。

必ず1→2の順にお読みください

1 液晶ディスプレイとして使えるようにしよう

タッチパネル機能を除いた「液晶ディスプレイ」として本製品をご利用になるまでの準備について説明します。タッチパネル機能を使用しない場合は、ご使用になるための準備は本紙にて終了です。

2 タッチパネル機能を使えるようにしよう 本紙

タッチパネル機能をご利用になるまでの準備について説明します。この手順は必ず 1 液晶ディスプレイを使えるようにしよう の後に行なってください。

タッチパネル機能について

・パソコン本体にシリアルコネクターがついていない場合は、タッチパネル機能をご利用いただけません。
・Windows 以外の OS では、タッチパネル機能をご利用いただけません。
・電源ボタンで電源を切っても、電源コードを抜くかパソコンの電源を切るまでは、タッチパネルの動作は継続します。
・操作の際、爪、ペン、鉛筆等の硬いもので、パネル面に触れないでください。パネル面に傷が付く恐れがあります。

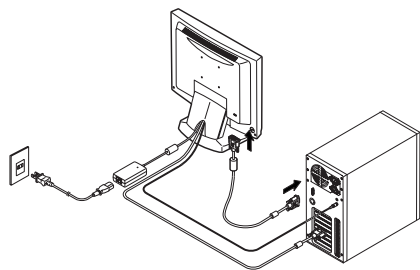
「タッチパネル機能」とは、直接指先でパネル面に触れるだけで、パソコンの操作が行なえる機能です。
タッチパネル機能を使うには、「シリアル接続ケーブル」の接続と、「タッチパネルドライバ」のインストールが必要です。詳しくはこの後の手順をご覧ください。

・誤って、指以外のやわらかいものでパネル面に触れた場合でも、パソコンが操作されることがあります。
・パソコンがスタンバイモードおよびスリープモードのときに、パネル面を押してパソコンを操作しようとしても、復帰できない場合があります。その場合は、マウスやキーボードをご使用ください。

タッチパネル機能を使えるようにしよう

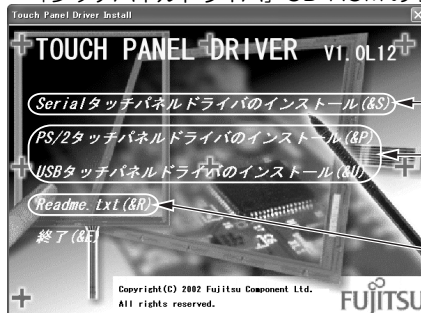
1. シリアル接続ケーブルを接続する

・別紙 1 液晶ディスプレイを使えるようにしよう の手順が済んでいることをご確認のうえ、本手順を始めてください。
・接続は、本製品およびパソコンの電源をオフにした状態で行なってください。
・タッチパネル機能を使用しない場合は、シリアル接続ケーブルの接続は不要です。
・タッチパネル機能は、シリアル接続ケーブルを接続しただけではご利用いただけません。このあとの【タッチパネルドライバをインストールする】の手順をご確認のうえ、必ずタッチパネルドライバをインストールしてください。

シリアル接続ケーブルのメス側を本製品のシリアルコネクターに、オス側をパソコンのシリアルコネクターに接続します。
シリアルケーブルのコネクターには固定用のネジがついています。最後まできちんと締めてください。

2. タッチパネルドライバをインストールする

タッチパネル機能を使用するには、シリアル接続ケーブルを接続するだけではなく、添付の「タッチパネルドライバ」CD-ROM からタッチパネルドライバをインストールする必要があります。
「タッチパネルドライバ」CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットすると表示されるオートランメニューから、インストールを行なうことができます。

・添付の CD-ROM は 2 枚ありますので、気をつけてください。
本手順では「タッチパネルドライバ」CD-ROM を使用します。
・タッチパネルドライバのインストールは、必ず「シリアル接続ケーブルを接続した状態」で行なってください。

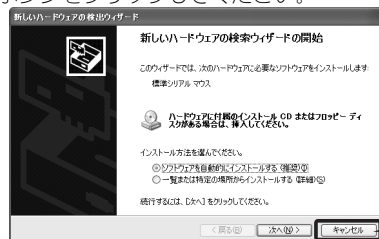
▼「タッチパネルドライバ」CD-ROM のオートランメニュー

タッチパネルドライバのインストールを行ないます。

本製品では使用しません。

「タッチパネルドライバ」CD-ROM に収録されている、Readme.textファイルを表示します。

以下の手順でタッチパネルドライバのインストールができます。

1. **シリアル接続ケーブルが接続されていることを確認します。**
シリアル接続ケーブルの接続手順は、前の手順【1. シリアル接続ケーブルを接続する】にてご確認ください。

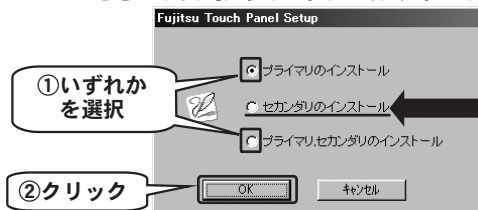
2. **本製品とパソコンの電源を入れます。**
[新しいハードウェアウィザード] 画面が表示された場合は、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。

3. **「タッチパネルドライバ」CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。**
自動的にオートランメニューが起動します。

参考：自動的にオートランメニューが表示されない場合は、「タッチパネルドライバ」CD-ROM に収録されている [RTPSETUP] アイコンをダブルクリックしてください。

4. **[Serial タッチパネルドライバのインストール (&S)] をクリックします。**

5. **デバイスの選択画面が表示されますので、「1.Non Plug and Play Device」を選択します。**
このあと、お使いの OS によって、手順が異なります。
● Windows XP/2000 の場合 ……………………手順8へ
● Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合 ……手順6へ

6. 【Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合のみ】
インストールするドライバを選択する画面が表示されますので、[デバイスドライバ (推奨)] にチェックをつけ、[OK] ボタンをクリックします。

7. 【Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合のみ】
タッチパネルディスプレイを 1 台でご使用の場合
シリアルケーブルが「COM1」に接続されていることを確認し、[プライマリのインストール] を選択します。
【Windows Me/98 Second Edition の場合のみ】
タッチパネルディスプレイを 2 台でご使用の場合
シリアルケーブルがそれぞれ「COM1」「COM2」に接続されていることを確認し、[プライマリ , セカンダリのインストール] を選択します。

[セカンダリのインストール] はご使用いただけません。

8. **[デバイスの接続先を設定してください] という内容のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。**

❾ ［タッチパネルの設定］画面が表示されますので、［現在のポート］欄にシリアルケーブルを接続したポートが表示されていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

ポートの設定を変更する手順については、【ふろく】「困ったときには」の「モデムカードなどがタッチパネルと競合して、タッチパネルが正しく認識されない」の項を参照してください。

❿ ［新しい設定を有効にするために再起動が必要です］という内容のメッセージが表示されますので、［OK］ボタンをクリックします。
パソコンが再起動されます。

【Windows Me/98 Second Edition の場合のみ】
タッチパネルが正しく動作している場合でも、［デバイスマネージャ］画面にて、「COM1」「COM2」に「！」マークが表示されることがありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。

以上でタッチパネルドライバのインストールは終了です。

ふ ろ く

タッチパネルドライバをアンインストールするには

どの OS でも、以下の手順でタッチパネルドライバのアンインストールができます。

❶ ［スタート］→（「設定」→）［コントロールパネル］をクリックします。

❷ Windows XP では［プログラムの追加と削除］、その他の Windows OS では［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。

❸ [Fujitsu Takamisawa Touch Panel(Serial)] をクリックして選択し、［追加と削除］ボタンをクリックします。
環境によっては、上記の通りの表示ではなく、[Fujitsu Takamisawa Touch Panel Driver（Windows2000/XP)]、[Fujitsu Touch Panel Service (COMM)] などと表示されることもあります。（いずれかの名称でひとつ、本製品のタッチパネルドライバの表示がされます。複数表示されません）このような場合は、その名称を選択します。

❹ 削除確認のメッセージが表示されますので、［はい］ボタンをクリックします。

❺ アンインストール完了のメッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。

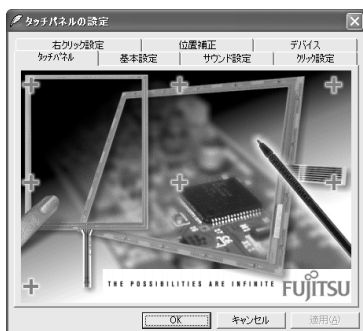
❻ ［新しい設定を有効にするにはパソコンを再起動する必要があります］という内容のメッセージが表示されるので、［はい］ボタンをクリックして、パソコンを再起動します。

困ったときには

・位置合わせをしたい
・タッチパネルの設定を変更したい

対処

❶ ［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。
Windows XP の場合、［コントロールパネル］画面にて、クラシック表示に切り替えてお使いいただくと便利です。

❷ ［タッチパネル］アイコンをダブルクリックします。
→［タッチパネルの設定］画面が表示されます。

❸ タブをクリックして各設定画面を表示させ、任意で設定を変更します。
位置合わせをしたい場合は［位置補正］タブをクリックし、［補正を実行する］ボタンをクリックします。あとは画面の指示に従ってください。
項目詳細については、オンラインマニュアルをご覧ください。

❹ [OK] ボタンをクリックして、設定を有効にします。

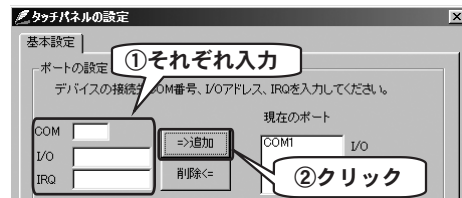
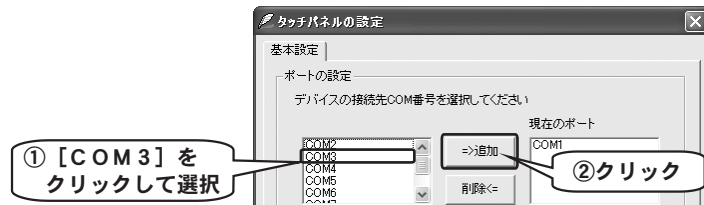
モデムカードなどがタッチパネルと競合して、タッチパネルが正しく認識されない

対処 1 **本製品のシリアルケーブルが、パソコンの COM3 に接続されている場合を例にして説明します。**

❶ 【Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合のみ】
あらかじめ COM ポートの設定を確認します。
①［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］→［デバイスマネージャ］タブ→［種類別に表示］の順にクリックし、［ポート (COM と LPT)］をダブルクリックします。
②［COM3］をダブルクリックし、表示されたプロパティ画面の［リソース］タブをクリックします。
③表示された［I/O の範囲］の左側の数値と［IRQ］の値をメモします。

❷ **［スタート］→（［設定］→）［コントロールパネル］の順にクリックします。**
Windows XP の場合、［コントロールパネル］画面にて、クラシック表示に切り替えてお使いいただくと便利です。
※［クラシック表示に切り替える］をクリックすると、クラシック表示に切り替えることができます。

❸ **［タッチパネル］アイコンをダブルクリックし、表示された画面の［基本設定］タブをクリックします。**
→［タッチパネルの設定］画面が表示されます。

❹ 【Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合】
①次の通り入力します。
● ［COM］欄 ……………………………………「3」
● ［I/O］欄 …手順❶の③でメモした［I/O の範囲］の数値
● ［IRQ］欄 ……… 手順❶の③でメモした［IRQ］の数値
②［追加］ボタンをクリックします。

【Windows XP/2000 の場合】
①［COM3］をクリックして選択します。
②［追加］ボタンをクリックします。

❺ **[OK] ボタンをクリックして、設定を有効にします。**

対処 2 **Windows Me/98 Second Edition/NT 4.0 の場合、以下の手順を行い、解決できるかお試しください。**

❶ ［マイコンピュータ］を右クリックして、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

❷ ［デバイスマネージャ］タブをクリックし、［種類別に表示］にチェックを付けます。

❸ ［ポート (COM/LPT)］をダブルクリックします。

❹ タッチパネルを接続する通信ポートをダブルクリックし、表示されたプロパティ画面から、タッチパネルを接続する通信ポートが無効となるように設定します。

❺ パソコンを再起動します。

タッチパネルディスプレイを 2 台接続したマルチモニタ環境で使用した場合、タッチパネルの操作が正しく認識されない。

対処 1 **［画面のプロパティ］→［設定］の中で表示されるモニタの配置と、［コントロールパネル］→［タッチパネル］→［マルチモニタ］で表示されるモニタの配置を合わせてください。**

対処 2 【Windows Me/98 Second Edition の場合のみ】
対処 1 にて問題が解決しなかった場合は、［画面のプロパティ］→［設定］の中で、セカンダリモニタ（［2］と表示されるモニタアイコン）の解像度を［800 × 600］に設定してください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/

2004. Jul.16